

第19回 旧園田高弘邸 音楽と建築の響き合う集い



2015年6月17日(水)  
18:30開演 (18:00開場)

レクチャーコンサート

# 高橋礼恵 × 赤坂智子 × 辻本玲

日本からベルリン、そして世界で活躍する演奏家たちの楽しいトークと豊潤な室内楽の世界



ベートーヴェン Ludwig von Beethoven

ヴィオラとチェロのための二重奏曲 “眼鏡”

ブロッホ Ernest Bloch

ヴィオラとピアノのための組曲

ヤナーチェク Leon Janacek

おとぎ話

ブラームス Johannes Brahms

クラリネットトリオ op.114 (ヴィオラ版)

## ■ 高橋礼恵 Norie Takahashi (ピアノ)

桐朋学園を首席で卒業後、ベルリン芸術大学でK.ヘルヴィヒ氏のもとで研鑽を積む。また、故園田高弘氏にも指導を受ける。現在、ベルリンを拠点に活発に演奏活動を行っている。日本音楽コンクール第2位、ベートーヴェン国際コンクール入賞、エリザベート王妃国際コンクールファイナリストなどを受賞し、渡独。F.シューベルトと現代音楽国際コンクール優勝、リーズ国際コンクール特別賞、ベルリン・スタインウェイ賞受賞。ボン国際ベートーヴェンコンクールで第2位、及び21世紀音楽解釈賞を受賞。ヨーロッパを中心に世界各国の音楽祭にも招かれ、室内楽やリサイタルと共に、ボン・ベートーヴェン管、ベルギー・ナショナル管、新日フィル、仙台フィルなど国内外のオーケストラと共演。チェリストのヨハネス・モーザー氏、ヴァイオリニストのヴィヴィアン・ハーグナー氏など世界的に活躍する若手演奏家と多数共演している他、「PianoDuo Takahahi|Lehmann」としても活発に活動中。2015年秋には日本ツアーが予定されている。

## ■ 赤坂智子 Tomoko Akasaka (ヴィオラ)

5歳よりヴァイオリンを始め、ハンガリーリスト音楽院および桐朋学園にて研鑽を積む。在学中より、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、水戸芸術館ATMアンサンブル、NHK名曲アルバム、NHKクラシック倶楽部等に出演。海外でも各地の音楽祭に招かれ、コンサートではアムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリン・コンチェルトハウス、フィルハーモニーホールなど各地の主要ホールにて室内楽、リサイタル出演。これまでに、庄司紗矢香、榎本大進、児玉桃、麻里、小菅優、ギドン・クレーメル、ダニエル・ホープ、ハインツ・ホリガー、メナハム・プレスラー、チャールズ・ナイディック各氏、女史等と共演。第12回日本クラシック音楽コンクール第1位、第53回ミュンヘン国際音楽コンクール第3位授賞。パリ Edmund Pendreton 財団よりミュージシャン・オブ・ザイヤーに選ばれる。ジュネーブ音楽院にて今井信子女史に師事、同校助教授およびヌシャテル音楽院客員教授を経て現在ベルリン在住。

## ■ 辻本玲 Rei Tsujimoto (チェロ)

7歳よりチェロを始める。11歳まで米国フィラデルフィアで過ごす。東京芸術大学音楽学部器楽科を首席で卒業(アカンサス音楽賞受賞)。第72回日本音楽コンクール第2位、併せて「聴衆賞」、青山音楽賞新人賞受賞。奨学金にて、シベリウスアカデミー、ベルン芸術大学卒業。五嶋みどり氏が主催する「Community Engagement Program」に参加し、世界各地で共演。第2回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)併せて「日本人作品最優秀演奏賞」を受賞。(その模様はNHK-BSにてドキュメンタリー番組「チェロ・エスプレッシーボ!~国際コンクールに懸ける青春~」としてオンエアされた)。第12回斉藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。アルカス佐世保のレジデンス・カルテットの1員、サイトウ・キネン・オーケストラに参加のほか、新日フィル、東フィル、関西フィル等と共演。NPO法人イエロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを貸与されている。

### お申込み

会費： 4,000円 (住宅遺産トラスト会員 3,000円) お飲み物付き  
※ 当日、受付にてお支払いください。

申込方法：【予約制】お名前・所属(ご職業)・ご住所・携帯番号を明記の上、下記メールまたは、FAXにてお申込みください。

申込先/問い合わせ先： 一般社団法人 住宅遺産トラスト

E-mail sonodatei@gmail.com FAX 03-3722-0166 TEL 03-3721-1044

※ 場所の詳細等は、申込受付後、個別にお知らせいたします。

#### 〈国登録有形文化財〉伊藤邸/旧園田高弘邸(1955年 竣工)について

建築家吉村順三(1908-1997)が46歳の藝大助教授の時、ピアニスト園田高弘(1928-2004)夫妻のために設計した18坪の小さな名住宅です。1987年に吉村の弟子である小川洋による増築を経て現在に至っています。50余年過ぎたこのお家を残したいという園田春子さん(故園田高弘夫人)の想いを受け、2008年秋より、夫人と有志による「園田高弘邸音楽と建築の響き合う集い」を実施してきました。この「集い」を通じて広がったネットワークの延長上に、園田高弘邸は、ピアノなどの遺品とともに新しい所有者へ継承されました。現在、新しいオーナーのさらなる支援により、音楽と建築を愉しむ空間として開かれています。